



—ロングセラ―を読み解く

島根県立大教授 岩田英作さん

ロングセラ―絵本を、山陰両県の専門家が読み解く企画。今回は島根県立大松江キャンパス「おはなしレストランライブラリー」代表の岩田英作さんが担当します。

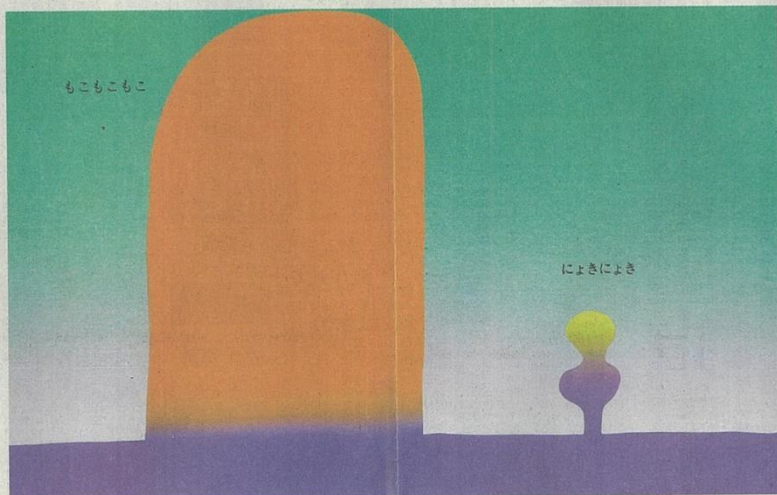
10年余り前のことになり 作は、題名からして、ひとまず。出雲市古志町に、作 者谷川俊太郎さんがお見えになったことがあり ます。この絵本には人間も動物も登場しなれば、樹木や建物といった環境物も具体的には描かれませんが、谷川さんとおそろいのTシャツ姿で、その胸表紙をめくると、紺青と元には「もこもこもこ」と書かれていました。現 代詩を代表する谷川さん は、絵本も多く手がけ、本 次いで、紫の部分に丸み



「もこもこもこ」谷川俊太郎・作、元永定正・絵(文研出版)

もこもこもこ 谷川俊太郎・作、元永定正・絵(文研出版)

シンプルな世界 強い印象



「もこもこもこ」谷川俊太郎・作、元永定正・絵(文研出版)

理屈抜きで笑える

を帯びた突起が生じ、それが色を変えて膨張しはじめたかと思いきや、かたわらに新たな異形の突起が芽生え、互いに上へ上へと成長し、ついには最初の突起物

がもう一方の突起物をつまみ込んでしまします。文字で説明しようとする、かよくなる言葉といえは、「しーん」「もこ」「によき」「ばく」「つん」「ぎらぎら」

「ばちん」といった、状態や動きを表すオノマトペばかりで、言葉というよりむしろ「音」といったほうがいいかもしれません。表現されているのは、生命や宇宙のはじまりの律動ではないでしょうか。

もうひとつ大きな特徴は、理屈抜きで笑えることです。表紙の絵からして、この緑色のなにものかは、口を大きく開いて笑っています。



いわた・えいさく、1963年、雲南市生まれ。島根県立大人間文学部教授。松江キャンパス児童図書館「おはなしレストランライブラリー」代表。子どもが生まれ、大学で読み聞かせの授業に携わったことで「絵本愛」が芽生えた。

「人形の旅立ち」「めつきらもつきらどおんどん」などで知られる出雲市出身の児童文学作家・長谷川摂子さんはこの笑いについて、赤ん坊をあやしているときなどに見られる「人間のいちばん原始的な笑い」そのものだと言っています。「子どもたちと絵本」福音館書店より。

島根県立大学には読み聞かせの授業があります。この絵本を選んだ男子学生が、どんなふうに通読しているか悩み、動画投稿サイトで谷川さん自身による朗読を見つけた。「こんなふうに読んでいいんだ」と、すっきりした顔で話してくれました。作者の読み方が絶対正しい、というふうなことではなく、ご覧になるともしかしら、目からうろこ、かもしれません。

次回は9月3日掲載(タイトルカット、似顔絵・くさなり)

